



五街道とは

五街道とは、江戸時代「江戸日本橋」を起点とした「東海道」「中山道」「日光道中」「奥州道中」「甲州道中」の5つの街道です。各街道には宿が置かれ、宿泊施設や旅客、荷物の運搬、通信などのために、人馬が常置されました。国土交通省では、日本の交通において重要な働きをするこの五街道の役割と魅力を再発見し、また道路のものづくりや変遷などを確認しながら、今後より豊かな道づくり、まちづくりを、皆様のご協力をもとに進めていきたいと考えています。

(写真は五街道の起点・日本橋に設置された「道路元標」)

中山道とは

江戸時代の中山道は、日本橋から京都・三条大橋までの67宿89次、全長約135里（約530km）。埼玉県では、戸田から本庄の駅使河原まで、蕨や大宮、桶川や熊谷などを経る約19里（約75km）の道程です。

「中山道散策マップ」は、中山道にゆかりのある名所・旧跡や見どころなどを広く紹介し、その魅力をあますところなく伝えようとするものです。地図やカラー写真を満載し、実際のウォーキングが楽しめるように構成しました。400年の時代の流れとともに、古きよき時代の中山道の面影に触れることができるでしょう。



国土交通省大宮国道事務所

〒331-9649 埼玉県さいたま市北区吉野町1-435

TEL 048(669)1205

ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/oomiya/

平成19年3月改訂

平成19年3月改訂

※浮世絵は埼玉県立博物館所蔵